

保護者 様

埴生小学校長 中村 まゆみ

学校評価の結果について

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。得られた結果、寄せられたご意見やご要望を考察し、今後に向けた改善の方向を考えました。子ども達の教育のため、学校・家庭・地域の連携をより一層深め、今後益々努力してまいります。

※表の中の数字は提出者の数の割合となっております。（数値が小さい場合は切り捨てられている場合があります。

その場合、合計が100%になっていない場合もあります）

※提出者数は保護者506名、児童552名 職員30名 計1088名

1 学校ランドデザインの中の重点について

重点活動 「笑顔あふれる明るいあいさつ」「ただひたすらに完全無言清掃」

	明るいあいさつ				完全無言清掃			
	A	B	C	D	A	B	C	D
保護者	32 (29)	47 (51)	18 (16)	3 (4)	—	—	—	—
児童	56 (57)	34 (35)	8 (6)	2 (2)	37 (36)	43 (50)	16 (11)	4 (3)
職員	11 (16)	54 (60)	32 (24)	4 (0)	14 (24)	50 (60)	36 (16)	0 (0)

単位：％
 () : 昨年度の数値
 A：そう思う
 B：だいたいそう思う
 C：あまりそう思わない
 D：そう思わない

※「完全無言清掃」は『掃除中黙って時間いっぱい自分の仕事をしているか』を評価しました。

明るいあいさつ 児童はA、Bあわせて90%で、良くできていると感じている割合が昨年と同様に高水準となりました。一方、職員は肯定的な評価が65%と昨年度の76%から下がっています。一昨年は50%だったので、その頃よりは高評価となっておりますが、挨拶についてはもう少し力を入れていかなければと感じます。

保護者からは、昨年とほぼ変わらないものの、「朝の登校班ではなかなか挨拶ができていない」「恥ずかしがっていて小さい声で挨拶をしている」「今の時代、交流が少なく近所の人にも気軽に挨拶できない」「本人も挨拶の大切さは分かっているが、性格の殻を破るのが難しい」等の意見があり、「自分から進んで」できていない児童もいること、親しくならないとあいさつができていないことが見られます。一方で「学校付近を通ったときに、高学年の子が元気よく挨拶してくれた」「自分から積極的に元気に挨拶するなど、積極的に行動してきており、成長を感じる」等のご意見もありました。今後とも、家庭、学校、地域等のどこでも気持ちのよいあいさつが自分から進んで出来るよう、人との関わりを大切にしながら、児童会、学校が連携しながら、指導していきたいと思えます。また、保護者の皆様にも、引き続き家庭や地域で、小学生に大きな声であいさつをしていただくとありがたいです。

完全無言清掃 児童はA,B合わせて80%となっており、昨年の86%と比べると若干下がっています。職員は64%と、昨年の84%に比べると大幅に下がっています。一昨年の結果（職員62%）と同程度となっています。昨年は学校全体で「完全無言清掃」への意識が高まっていたが、今年は無言清掃について意識が向いていなかったと反省させられます。「無言清掃」は単に黙って掃除をするだけでなく、汚れているところを自らが「気づく」ことや周りの友だちが手伝って欲しいと思っている「心の声を聞く」など、本校の教育課題「唯聴心」を具現化する大切な活動です。学校でも、学校全体、クラス、児童会等で協力しながらすすめていきたいと思えます。ご家庭でも、お掃除

やお手伝いで最後までやり通すことを認めていただきながら、その良さを実感させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

重点 <明るく> 「笑顔一番・感動の歌声」 <元気よく> 「健康第一・元気にマラソン」

	笑顔一番・歌声				健康第一・マラソン			
	A	B	C	D	A	B	C	D
保護者	—	—	—	—	70 (59)	28 (33)	2 (7)	0 (1)
児童	53 (47)	33 (32)	12 (17)	2 (5)	55 (50)	27 (27)	15 (18)	4 (6)
職員	21 (36)	54 (50)	21 (14)	4 (0)	14 (4)	71 (80)	14 (16)	0 (0)

※『歌声』は昨年はなかったため、一昨年の物と比較してあります。

※児童の『マラソンに取り組んだり運動をしようとしていたりしているか』と、保護者の『体を動かしたりスポーツに親しもうとしていたりしているか』で評価しました。

歌声 児童の86%、職員75%がよかったと感じています。昨年度は新型コロナウイルス感染対策の観点から、音楽会の合唱を差し控えさせていただきましたが、今年度は音楽の授業や音楽会での合唱が復活しました。各クラス毎日1回は歌を歌うという取り組みはできませんでしたが、そんな中でも子どもたちは歌えること、音楽を聞くことを楽しみにして、前向きに音楽の学習に取り組めた子が多かったように思われます。今後も、感染対策に配慮しながら、歌を歌えるよう取り組んでいきます。

マラソンや運動に親しむ A,B合わせると、保護者98%、児童82%、職員85%がよかったと感じていますが、昨年に引き続き感染対策で常にマスクをしている状況から、子どもが体を動かしたりスポーツに親しむことが難しかったようです。また、運動の得意不得意など、個人差が大きかったように思います。アンケートでも「運動が苦手なので」とのご意見と「家に帰っても取り組んでいる」「一緒に走ろうと声をかけてくる」等のご意見がありました。その中でも子ども達は82%が肯定的に捉えています。今年度も「埴生っ子マラソン」を含む「埴生っ子運動」に全校で取り組み、冬場は大縄にもチャレンジしています。今後も、感染対策に配慮しつつ、工夫しながら体を動かす楽しさを伝えていきたいと思えます。

重点 <楽しく> 「みんななかよし・学び合い」

	みんな仲良し				学び合い			
	A	B	C	D	A	B	C	D
保護者	67 (62)	29 (36)	4 (2)	1 (1)	—	—	—	—
児童	79 (73)	18 (25)	3 (2)	1 (0)	48 (49)	42 (41)	9 (7)	1 (2)
職員	28 (20)	72 (80)	0 (0)	0 (0)	7 (8)	79 (79)	14 (16)	0 (0)

※「学び合い」は、児童の『自分から進んで考えたり友達の意見を聞いたりしながら学習しているか』で評価しました。

※本年度も授業を参観する機会が十分に設けられなかったため、保護者の「学びあい」についての項目はアンケートから削除させていただきました。

みんな仲良し 保護者・児童・職員とも「仲良くしている」と感じている割合が高くなっています。しかし保護者の5%、児童の4%がC・Dとし、課題があると捉えています。学校でも、授業中はもちろん、休み時間なども子ども同士の間を関わる様子を見るようにし、子どもたちが肯定的に関わり合えるように工夫をしていきたいと思えます。お気づきのこと、心配なことがありましたら、迷わず、担任まで連絡をお願いします。

学び合い 児童が主体的に考えたり、話し合ったりできることを目指しながら学習を進めてきました。昨年度に比べ、多少肯定的な意見が増えたものの、職員のC評価が14%とまだ多くなっています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、直接友達と関わる活動などは控えており、十分な取り組みができていなかったためと捉えています。今後も引き続き感染対策は行いつつ、友達と関わりながら学ぶ活動を増やしていきたいと思えます。「クラスで話し合っ決めていくことが多く、子どもが主

体的に取り組みたいと思える活動の機会を大切にしてください」というご意見もありました。自分たちで話し合い考える経験は、これからも大切にしていきたいと思えます。

「友達や先生に伝えたり発表したりすること」については、人前で発表したり自分の考えを文章に表したりすることが苦手な児童がいます。今後も児童が安心して発表したり、自分の言葉でノートにまとめられたりできるよう、学習を進めてまいります。また、タブレットを使用しながら考えを共有する場面も設定していきたいと思えます。学校としては、授業中の取り組んでいる様子を認めたり、自主的に取り組む良さ実感できる工夫をしたりしながらこれからも指導していきたいと思えます。

2 学校教育の全般について

	喜んで学校へ通う				授業は分かりやすく楽しい				
	A	B	C	D	A	B	C	D	
保護者	52 (49)	42 (45)	5 (5)	0 (1)	37 (38)	55 (51)	7 (9)	1 (2)	※「喜んで学校へ通う」は、児童の『学校へ行くのが楽しみ』を評価しました。 ※「授業は分かりやすく楽しい」は、職員の『子どもたちは関わり合い、分かりやすいと感じる授業をしている』で評価しました。
児童	47 (50)	37 (36)	11 (11)	5 (3)	56 (51)	34 (39)	7 (8)	3 (2)	
職員	29 (8)	68 (92)	4 (4)	0 (0)	24 (12)	72 (76)	3 (12)	0 (0)	

喜んで学校に通っているか A、Bで84%と、ほぼ昨年同様に多くの児童が喜んで学校に通っています。しかし、保護者の5%、児童の16%がC、Dの評価をしています。アンケート結果を見ると、友達関係の不安を感じているようです。学校に通うことが楽しいと思えるように日々の活動を工夫したり、一日の全般を通して職員が児童の様子を良く見たり話を聞いたりして悩みを汲み取ったりしていきたいと思えます。また、保護者の方と連携を取りながら、一人ひとりの子どもに寄り添った支援ができるよう努めたいと思えます。

授業は分かりやすく楽しい 保護者の92%、職員の93%がA、Bと評価をしています。昨年度に比べ、児童のAの割合が上がりました。しかし、保護者の8%、児童の10%がC、Dの評価をしています。どの子にとっても分かりやすく楽しいと思える授業になるように、子どもたちの様子をよく見て、今まで以上に教材の研究を深め、教科担任制や少人数学習なども取り入れ、授業改善を行っていきます。アンケート結果からは、コロナ関連で休んだ後のフォローがなく、分からないまま先に進んでしまう」とのご意見があり、反省しております。分からない事が増えることが、楽しくないことにつながってしまうと思えます。休んでいる間の学習内容の説明はもちろん、分からないままではなく、分かるまで教えるようにしていきたいと思えます。繰り返し学ぶことで学習内容は定着していきます。ご家庭でも学習を見ていただくとありがたいです。

安全への指導 職員の児童理解

	安全への指導				職員の児童理解				
	A	B	C	D	A	B	C	D	
保護者	50 (51)	47 (44)	2 (4)	0 (1)	49 (50)	49 (45)	2 (4)	0 (1)	※「安全への指導」は、児童の『登下校中一列で歩いたり、校舎内では走らないように気をつけたりして、けがをしないように生活しているか』で自己評価しました。 ※「職員の児童理解」は、児童の『先生は私のことを良く分かってくれて、困った時は相談にのってくれるか』で、職員の『子どもたちの児童理解に努め適切に指導しているか』で評価しました。
児童	44 (42)	43 (41)	10 (13)	2 (3)	62 (62)	28 (31)	8 (6)	2 (1)	
職員	41 (44)	59 (52)	0 (4)	0 (0)	50 (33)	50 (67)	0 (0)	0 (0)	

安全な登下校や校内生活をしているか 12%の児童がC、Dの評価をしています。昨年より減少したとはいえ、まだかなりの児童が登下校や廊下歩行等の安全について、良くない、もっと考えていかなくてはと感じています。登下校については、保護者の皆様からも「何回か寄り道をして帰ってきた」「先日下校の様子を見たが、学年に関係なく危ないと感じた。道に広がって歩いたり、歩道橋か

ら勢いよく降りてきて道に飛び出したり・・・」等、多くのご意見や要望をいただいております。登下校時は安全に気をつけ横に広がらずに一列で歩くように、校舎内では走らずに右側を安全に歩行できるように、指導していますが、今後も子ども達の安心安全を第一に考えて指導してまいります。お気づきの点がありましたら、学校にお知らせいただくようお願いいたします。

職員は児童理解に努めているか 保護者の98%、児童の90%でA、Bの評価をいただきました。しかし、児童の10%がC、Dの評価としています。職員は更に信頼感を得られるように児童・保護者の方と関わっていく必要があると感じています。学校では、Q-U検査の後や、各学期ごとに児童一人ひとりと話をする時間を取って話を聞いています。話を聞いて対応する中で安心して過ごすことができるようになった子もみられました。これからも児童が安心して学校生活を送ることができるように、悩みをきちんと受け止め、児童理解に努めていきたいと思っております。「先生は自分のことを分かってくれる」と子どもたちが感じられるように、様子をよく見たり話を聞いたりしたいと思っております。さらに家庭との連絡を密にして、一人ひとりに応じた支援や指導を行いたいと思っております。お子さんの様子から心配なことがありましたら、どんなことでも学校に連絡をいただくようお願いいたします。

	様子を家庭へ知らせる				行事で成長				行事を楽しみに			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
保護者	64 (61)	32 (37)	4 (2)	0 (1)	70 (76)	28 (22)	2 (1)	0 (1)	82 (83)	17 (16)	1 (1)	0 (0)
児童	57 (52)	25 (31)	11 (13)	6 (4)	80 (85)	16 (12)	3 (3)	1 (1)	79 (79)	16 (18)	3 (2)	1 (1)
職員	21 (24)	55 (60)	21 (16)	3 (0)	71 (72)	29 (28)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—

※「様子を家庭へ知らせる」は、児童の『私は学校の様子を家庭で話しているか』で評価を、「行事で成長」は、児童の『私は運動会やマラソン大会の練習や本番をがんばったか』で評価しました。

学校や学級の教育方針や取り組みの様子が分かりやすく家庭に伝えられているか 学校便り、埴生小HP、学年通信、学級通信やH&S、電話連絡等によって学校での児童の様子を家庭へ伝える努力をしていますが、職員としては、C,D評価が25%となっており、もっとお伝えできたのではないかと感じています。また、保護者の方からも「クラスだよりが少ないので学校の様子が分からない。行事もないため保護者への周知はもう少し工夫してほしい」等のご意見がありました。今後は今まで以上に学校から分かりやすく正しい情報を家庭へ発信するよう努力します。

また、児童の評価ではC、Dの評価が17%ありました。学校の様子をなかなか自分から話さないお子さんもいるようですが、学校からのお便りをお子さんとの話題作りの「きっかけ」にさせていただけるように努めてまいります。

行事は子ども達の心身の成長につながっているか・子ども達は行事に楽しく取り組んだか 保護者、児童とも非常に高い評価をいただきました。アンケートからも「行事があることで目標に向かって取り組むことができている。工夫しながら実施してもらえることに感謝」とのご意見をいただきました。今年は、昨年度コロナ禍で行えなかった行事も、規模や形態を変えて行ったり、感染防止の対策を行ったりするなど工夫をいたしました。今後も、感染防止対策をしっかりと行いながら、児童が楽しく取り組み、より良い成長につながるよう工夫して行事を行っていききたいと思います。

3 その他

今回の学校評価アンケートでは、保護者の方に「学校へのご意見」「ご提案」についてご記入いただき、ありがとうございました。こちらに寄せられたご意見につきましては、各学年、各係、学校全体で考え、対処していきたいと思っております。

千曲市立埴生小学校
担当：坂口 昌子
TEL 026-272-0158
Fax026-272-4454

